

第 9 回例会報告【第 2386 回】

例会日：2025 年 9 月 18 日（木）

会 場：戸田文化会館 SAA:関口英子会員

- ・奉仕の理想
- ・本日のお客様 戸田市長 菅原文仁様
 榎ツルヤ交通(株)橋本強様
 PLUS—ONE サービス 西川様
- ・本日のプログラム 卓話「戸田市政について」
 戸田市長 菅原文仁様

会長挨拶

2025～2026 年度会長 溝上西二

皆様こんにちは。今日も 9 月中旬の残暑とはいえ、30 度を越す危険な気温なので注意しましょう。今週 15 日は敬老の日でしたね。敬老の日になんで新聞等の記事を少し紹介しますと、65 歳以上の高齢者は 3,619 万人で全人口の 29.4% だそうです。地元戸田市では、今年の 1 月 1 日現在の数値になりますが、24,038 人で戸田市全人口の約 17% ですので日本全国の数値に比べると、約 12 ポイント程少ない事になります。戸田市は埼玉県内で平均年齢が 42.3 歳と一番若い市でありますので、理解できますよね。又、埼玉県内の 100 歳以上が 3,556 人であり、その内の男性が 458 人(合計の約 13%)でありますので、断然女性が多いです。戸田市では 46 人で、男性 3 人・女性 43 人です。日本人の平均寿命も男女共 80 歳以上ですが、女性が 7 歳程高いそうです。そう云っている私も後、1 歳と 6 カ月で 80 歳の祝いの傘寿を迎える事になります。本日の卓話者として、地元戸田市長の菅原文仁様をお願い致しました。菅原市長は、戸田市議会議員を 2 期、埼玉県議会議員を 2 期、そして現在の戸田市長として 2 期目の最終年度でありますので、約 20 年以上の政治家としてご活躍中であり「戸田市民が安心して暮らせる、誰一人取り残されないまちづくり」を全力で取り組んでいかれる事と思います。本日の卓話、楽しみにしております。お客様としてつるや交通の橋本様、プラスワングループの西川様ようこそ

いらっしゃいました。ありがとうございます。結びになりますが、10 月 16 日の会員増強としてのオープン例会とその次の献血事業例会にご協力頂くことを切にお願いし、会長挨拶と致します。

幹事報告

2025～2026 年度幹事 駒崎夫

1. 本日 9/18 の例会プログラムは卓話です。公務で大変ご多忙のなかを戸田市長菅原文仁様にお越しいただき「市政報告」(仮)についてお話しいたきます。2. 次週 9/25 例会は法定休会となります。お間違えのないようお願いいたします。3. 新会員候補者をお招きするオープン夜間例会を 10 月 16 日(木)に開催いたします。会員の皆様には多くのお知り合いの方を入会候補者としてお誘いいただき、クラブとして候補者の方を歓迎し、例会体験と懇親の場を通じて会員増強に繋がりたいと考えています。皆様のご出席とご理解ご協力を宜しくお願いいたします。



《日 時》 令和 7 年 10 月 16 日(木) 午後 6:00～
 《場 所》 戸田市文化会館 4 階 高砂の間(戸田市上戸田 4-8-1)
 《会 費》 会員 7,000 円(当日集金をさせていただきます)

※お招きする入会候補者は会費無料といたします。
 ◎申込み・幹事(駒崎)まで ※10 月 6 日(月)締切り
 4. 戸田 RC・蕨 RC・戸田西 RC による 3 クラブ合同例会を来年 4 月 16 日(木)に開催することに決定しました。今年度は戸田西 RC が幹事クラブです。

《日 時》 2026 年 4 月 16 日(木) 午後 6 時～
 《会 場》 戸田市文化会館 4 階 羽衣の間

ニコニコ BOX

秋保会員 合計 18,000 円 累計 135,000 円



・卓話 「戸田市政について」

戸田市長 菅原文仁様

令和7年度 当初予算編成に当たって

《3つの重点戦略》

- ・子供が安心して生まれ・育つことができるまちへ
 - ・全ての世代の人が、健康で豊かに過ごすことの出来るまちへ
 - ・誰もが安心して暮らせる、防災・減災のまちへ
- 3つの重戦略以外にも、刻々と変化している社会状況に柔軟に対応した施策を推進する。

・こども応援プロジェクト【経済的な支援】

新 中学生の給食費無償化(194,764千円)

子育て世帯への経済的支援として、これまでの第3子以降の無償化に加え、特に教育費の負担が大きい中学生に係る給食費を、国の方針を待たずして無償化する。加えて、食物アレルギー等の給食提供を受けていない生徒や、特別支援学校中学部の在籍する生徒に対し、学校給食費相当額を助成する。

・子供応援プロジェクト【戸田市の教育】

これまで 戸田市 PBL(Project-Based-Learning)の取組により、子どもたちの課題解決の実績が増加し、より現実課題の解決に進化。

これから 第2期戸田型 PBL スタート！！

新たなテクノロジーを活用したものづくり体験など創造的な課題解決ができる環境づくり、子どもたちの知的好奇心を今まで以上に喚起する。全国でも極めて珍しい取組！市内全中学校にハイスペックデジタル工作機械を導入！

・防災プロジェクト【災害への備え】

新「災害時自主的広域避難支援補助金」(逃げサポ補助金)の創設(45,000千円)

荒川が氾濫した際には市内全域が浸水想定区域となり、市内に安全な地域が存在しないことから、水害時の避難は広域避難となる。広域避難については、市民の自助・共助に依存する形となることから、広域避難に対する経済的な障壁を軽減するため、災害時に市外の宿泊施設に避難した市民の宿泊料を一部助成する。「災害時自主的広域避難支補助金(逃げサポ補助金)」を創設する」。

